



# 「第3回Campus Life+1」グランプリ 夢実現レポート

全国の大学・短大・専門学校に通う学生の夢を応援する「Campus Life+1」。

約8000名の応募の中から見事グランプリを受賞した柳瀬 仁志さんが、現在、仲間と取り組んでいることや、夢の実現応援資金100万円の使い方について取材をしてみました。

シンクロで“あなたに感動を。”



**柳瀬 仁志さん**  
岐阜県出身。今年の3月にお笑い養成所を卒業。自分の熱意や思いに共感してくれる、いろんな個性を持つ仲間が集まりつつある。

## 夏の初ライブに向けて動きだしました！

「ボーイズシンクロを通して会うすべての人を笑顔にしたいと思っています。そして、世界的なイベントに関わり、ゆくゆくは活動の場を広げたいです」

そう話すのは、昨年のキャンパスライフ+1にて、グランプリを獲得した柳瀬さん。彼がこの夢を持つようになったのは、高校生の頃。文化祭でボーイズシンクロを披露したことがきっかけだった。自分たちのパフォーマンスに会場が湧く瞬間に快感を覚え、ライブのめり込んでいった。その後、チームに

所属し全国を行脚するなど、活躍の場を広げていったのだが、突如チームが活動停止することに。

「大学卒業後、活動休止のチームを復活させるべく、自分のスキルを高めることに専念しようと思いました。そこで、パフォーマンスやMCを学ぶために、地元岐阜を離れ東京のお笑い養成所に通い始めました」

そんなとき、柳瀬さんがたまたま目にしたのが、キャンパスライフ+1の告知だった。グランプリを取ってもう一度チームを立ち上げたい。こうして彼の夢はスタートした。そして、見事グランプリを獲得し、夢を実現するチャンスを手

に入れた柳瀬さん。現在は、仲間集めや練習会場の確保、そしてライブ用の楽曲のリサーチなど、日々チーム作りに奔走している。

「現在、6人の仲間が集まりました。ただ、華やかなライブにするためには、あと3人ほどは必要なので、自分の熱意や思いをもっと発信して、いろんな人たちに声をかけていきたいです。そして、夏にはライブを開催して、多くの人にボーイズシンクロの楽しさや素晴らしさを知ってもらえればと考えています」

そう力強く宣言してくれた柳瀬さん。その表情は実にイキイキしていた。

▶ボーイズシンクロにおいてチームワークはとて重要。そのため、日々の練習の積み重ねが大切になってくる。



▶昨年末の「第3回Campus Life+1」ファイナルで、自分の夢やボーイズシンクロの魅力について語る柳瀬さん。



Campus Life+1のグランプリ受賞で手に入れた賞金を使い、ホームページを立ち上げたり、仲間集めや会場確保のための資金に充てているのだとか。

## 100万円の使い道

**2016年  
開催決定**

【応募資格】●現在、大学(院)生、短大生、専門学校生、高校生、高等専門学校生、高等専修学校生の学生の方(20歳未満の方は保護者同意の上ご応募ください) ●日本国内に在住している方。国籍は問いません。 ●団体での応募も歓迎(最終選考出場は1チーム5人までとする) ●12月10日・11日に東京にて開催予定の最終選考に参加いただける方※詳細は一次選考合格の方へご連絡の際にお知らせいたします。 ●過去に「Campus Life+1」にご応募いただいた方の応募も可能です。

**ご応募はコチラから!**

エンタク   <http://entac.jp/>

応募期間:2016年6月6日~2016年10月30日